

# 幅広い市民参加に向けて

## PI計画の概要

- 福岡空港の総合的な調査 -



平成16年8月  
福岡空港調査連絡調整会議

## みなさんに求められているのは積極的な参加です。

国、福岡県、福岡市は、福岡空港の「総合的な調査」を行います。

福岡空港は、国の審議会の答申で、将来の混雑問題などについて、「総合的な調査」が必要であることが示されました。

このため、国、福岡県、福岡市が協力して、この「総合的な調査」を実施することになりました。

「総合的な調査」ではパブリック・インボルブメント(PI)の手法を導入します。

福岡空港は、国や地域にとって重要な役割を果たしており、みなさんの暮らしにも大きな影響を与えています。

そこで「総合的な調査」は、みなさんに積極的に情報を提供し、ご意見をいただきながら進めていくことにしました。(このことを、パブリック・インボルブメント(PI)といいます。)

このパンフレットで紹介しているのは、PIの基本方針です。

みなさんからご意見をいただき、このPI計画をとりまとめました。

平成17年度には、第1ステップのPIを予定していますので、平成16年度中に具体的な方法(PI実施計画)をつくります。

みなさんに求められているのは積極的な参加です。

できるだけ多くのみなさんからご意見をいただくことで、「総合的な調査」が実りあるものとなり、より良い解決方法を見つけることにつながります。みなさんの積極的な参加をぜひお願いします。

「福岡空港の総合的な調査に係る情報提供及び意見収集のあり方」公表  
(PI計画公表) 平成16年6月22日

PI実施計画(第1ステップ)の策定(平成16年度)

PI(第1ステップ)実施(平成17年度)

# 福岡空港の「総合的な調査」って何？

「総合的な調査」で、何をするの？

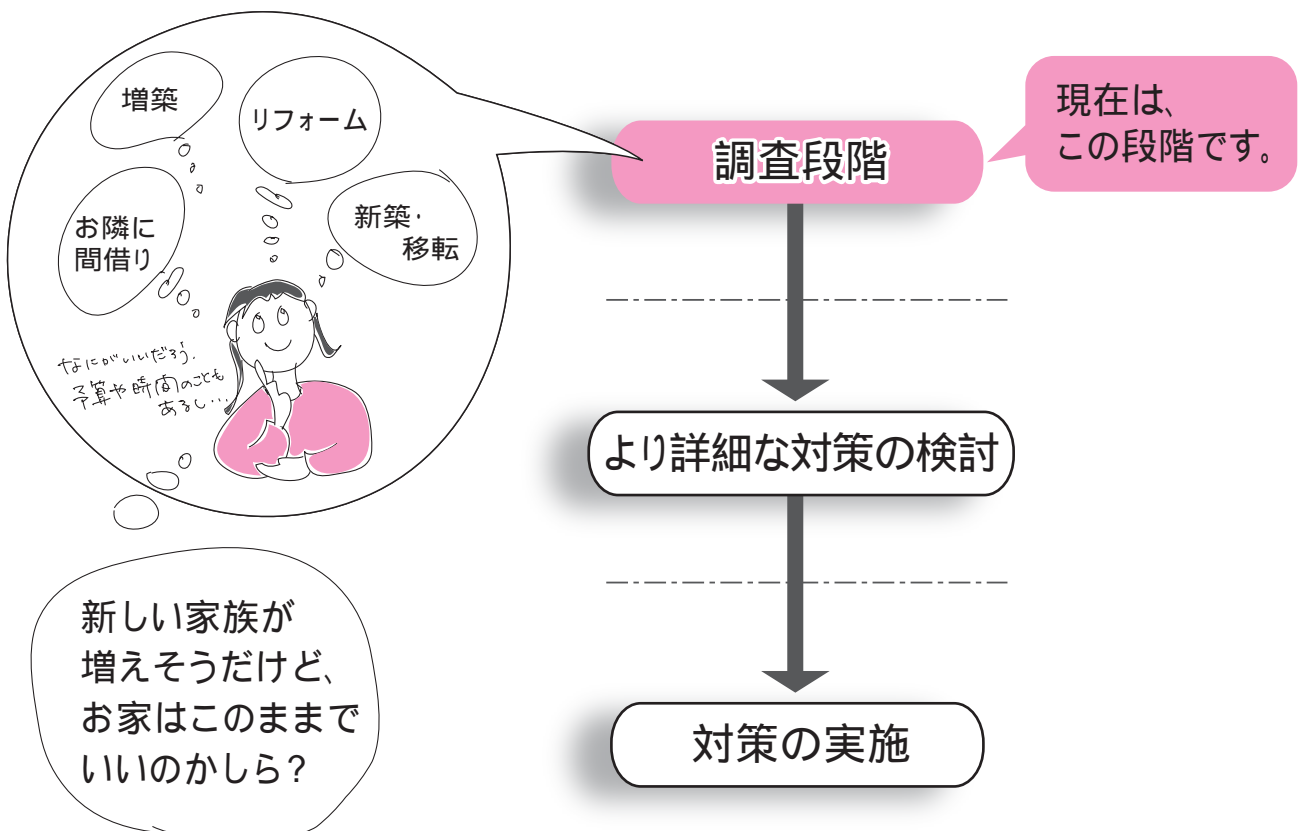
福岡空港の将来の混雑問題など様々な課題について、今の空港でどれくらい対応できるのか、将来なにか対策が必要となるのかなど、幅広く調査し、必要な対応案を考えます。

- 「今の滑走路一本でどれくらい活用できるのか」  
「近隣の空港を活用できないか」  
「今の空港で滑走路を一本増やせないか」  
「新しい空港を作って対応するか」 など

「総合的な調査」で選ばれた対応案は、その後、具体的な計画などが検討され、実施されます。

## 【一般的な空港計画検討の流れ】

例えば、家を考えるときにあてはめて  
みたら……



# 検討はどうやって進められるの？

順々に段階を踏んで検討を進め、各段階ごとにPIを行います。

みなさんにとってわかりやすく、また意見を言いやすいように、4つのステップを踏んで課題や解決方法の検討を行い、そのステップごとにPIを行います。

それぞれのステップにおいて、みなさんに提供される情報が理解され、みなさんからの意見が十分に把握できたと判断される段階で、次のステップに進んでいきます。

十分なPIを行うとともに、適切な時間管理を行います。

PIにおいては、その目的に照らして幅広い情報提供、十分な意見収集を行うことは当然ですが、一方で、迅速な情報提供、意見収集、時機を失しない判断など、適切な時間管理を行います。

## 第1ステップ

「福岡空港は、どのように使われ、どんな問題があるの」、「あとどれくらいお客さんや貨物を受け入れることができるの」などについて検討します。

## 第2ステップ

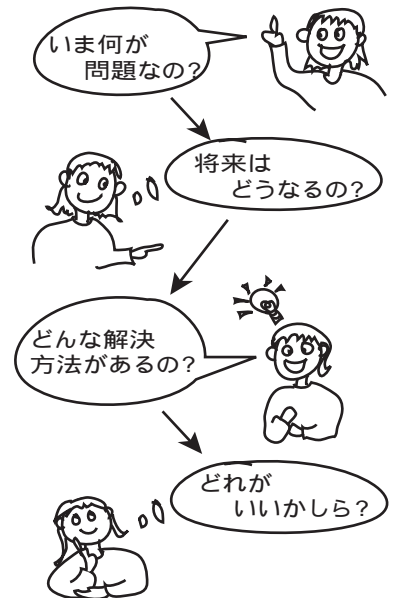
「将来どれくらいお客さんがふえるの」、「福岡の将来の姿をどう考えるの。また、そのときの空港の役割はどうなるの」などについて検討します。

## 第3ステップ

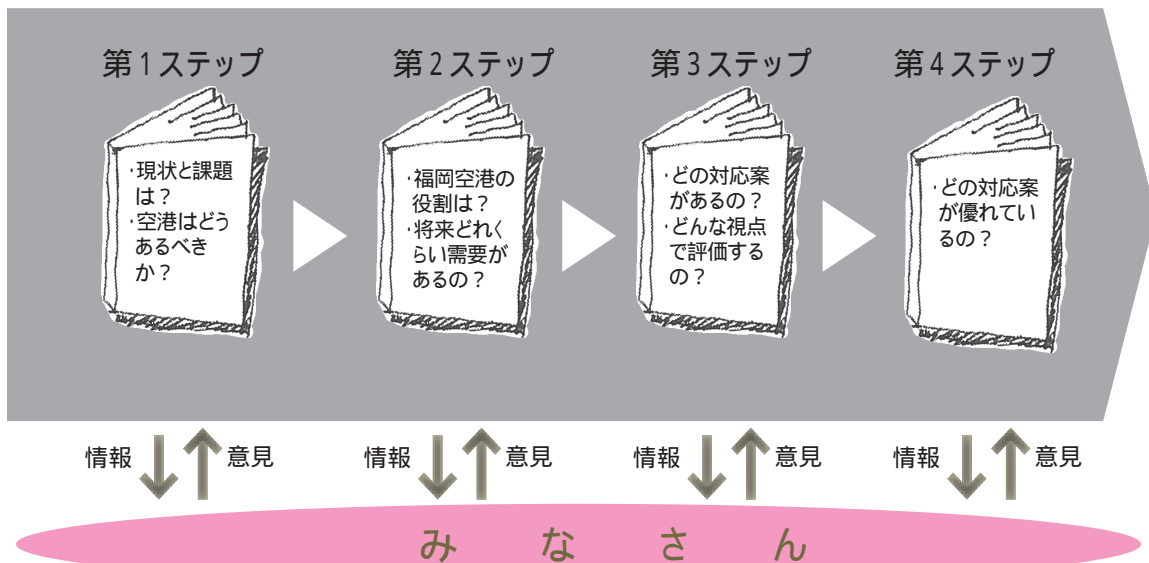
「どんな解決方法が考えられるの」、「どういう”ものさし”で比べるの」などについて検討します。

## 第4ステップ

考えられる「解決方法」を比較・検討して、実施する対応案をいくつか選びます。



## 【ステップの流れ】



# 福岡空港調査連絡調整会議がみなさんの窓口です。

「総合的な調査」について何か知りたいとき、意見があるときは、どこが窓口なの？

国、福岡県、福岡市は、「総合的な調査」を進めるため、共同で「福岡空港調査連絡調整会議」を作っています。この会議が窓口となって、みなさんに情報を提供し、ご意見をいただくなど、PIを実施します。

福岡空港調査連絡調整会議がみなさんに提供する情報は、どのように作られるの？

国と地域(福岡県、福岡市)が協力して作っていきます。

- ・ 地域の調査は、福岡県、福岡市が共同で作った「福岡空港調査委員会」が行います。

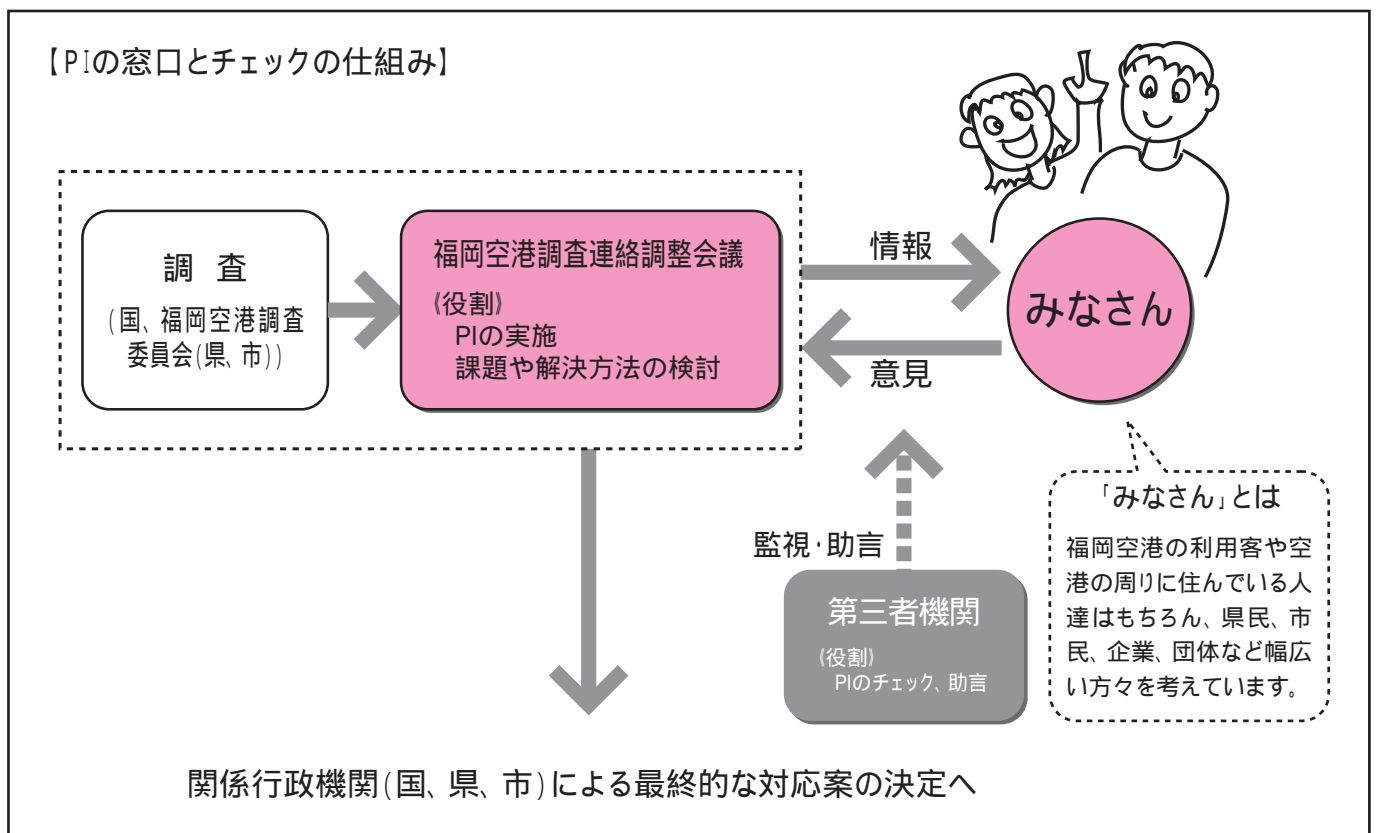
PIが正しく進められているか、誰がチェックするの？

PIについて監視する第三者機関を作ります。

- ・ 情報提供やみなさんからの意見の募集が十分に行われているかを監視し、福岡空港調査連絡調整会議に対して助言します。
- ・ PI、法律、空港などについて専門的知識を持っている人で作ります。

「総合的な調査」の結果は、どう活かされるの？

関係行政機関(国、福岡県、福岡市)は、みなさんの意見を反映して選ばれた対応案の中から、総合的な判断にもとづき最終的な対策を決めていきます。



# 参加方法はどんなものがあるの？

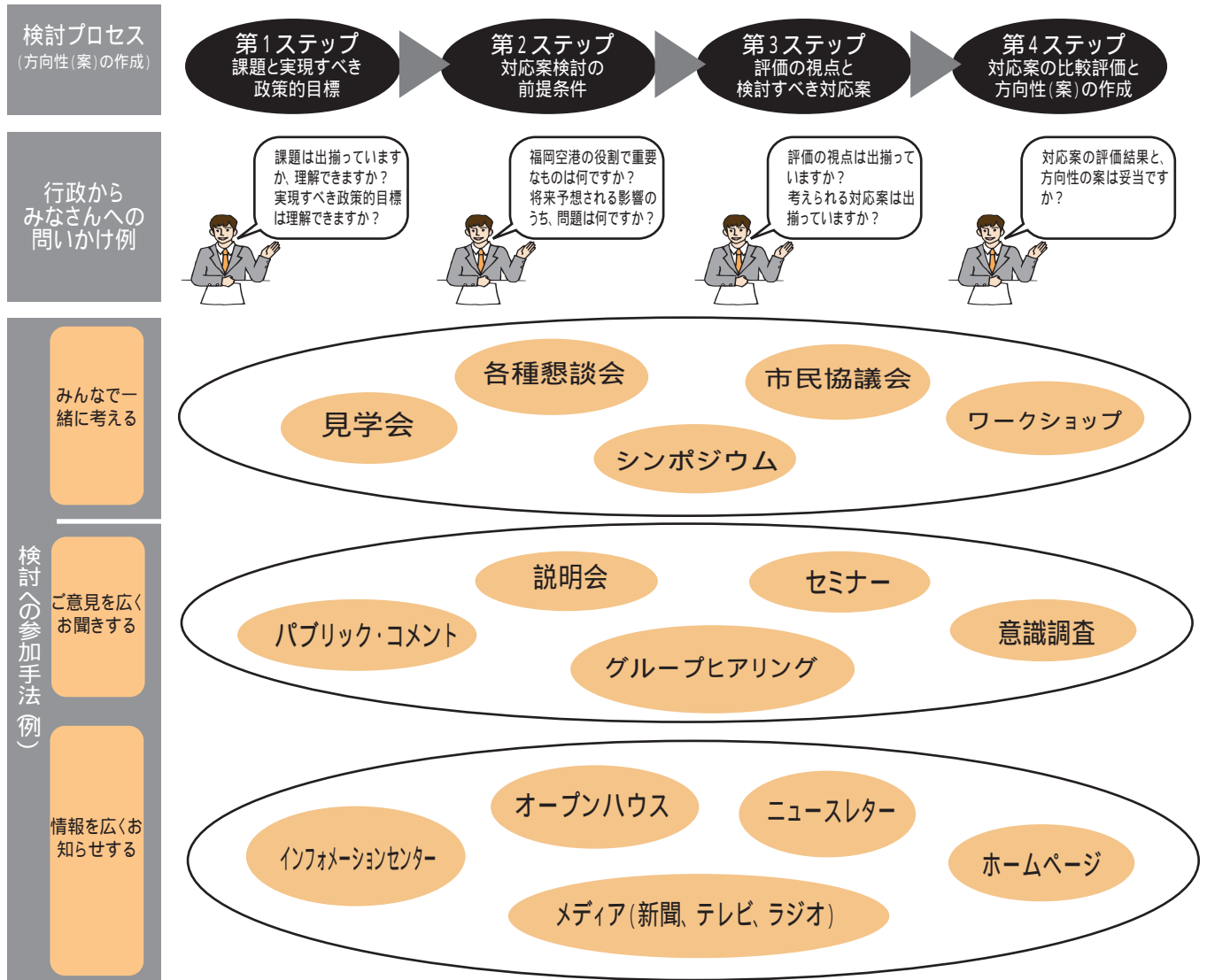
例えば、次のような方法が考えられます。

自分にあった方法で参加できるのね



実際に行う方法や内容は、具体的なPIの実施計画をつくるときに検討し、お知らせします。

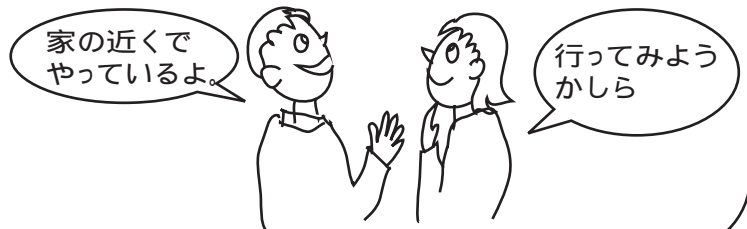
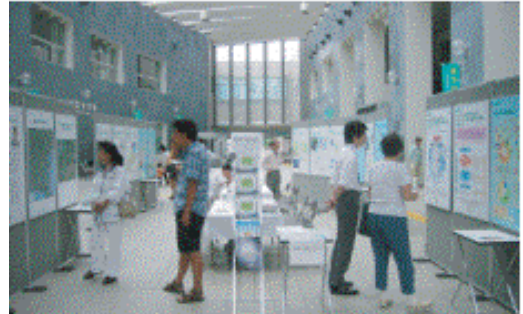
## 【各ステップでの市民の参加手法(例)】



## オープンハウス

駅のコンコースや公共の施設など、みなさんが訪れやすい場所で仮設のパネル展示などを行い、最新の情報を知ることができます。説明員に直接質問したり意見を言うこともできます。

いつ、どこで実施されるかは、ホームページやニュースレターなどで知ることができます。



## 協議会、ワークショップ、懇談会

協議会では、様々な意見を持つ方々による議論が行われます。協議会としての意見がまとめられ、レポートにしてPI実施者(福岡空港調査連絡調整会議)に提出します。

ワークショップでは、絵を描いたり模型を使うなどして具体的なアイデアをみんなで出し合い検討します。

懇談会では、空港に関係する方々や有識者などが集まって意見交換をします。



申し訳ありませんが、切手をお貼りください。

8 1 2 - 8 5 7 7

福岡県企画振興部空港対策局空港計画課  
空港PI担当 宛  
福岡市博多区東公園7番7号

